

男女がともに 輝くために

共に輝くみほの会
-美浦村女性行政推進協議会-

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)209

「いのちからのいのちへ」 落合恵子さんのビデオ 講演会収録に参加して

篠田京子

「美浦の女性活動を未来に繋ぐ会・結(結の会)」の会員でもある私は、12月に開催した「美浦平和のつどい」の落合恵子さんビデオ講演会「いのちからのいのちへ」の収録に立ち会うという貴重な体験をしました。



落合恵子さんは、「行動する社会派作家」として、人権を軸とした男女共同参画、育児・教育・介護・食の安全・原発問題など幅広い講演活動を

行っています。また、女性の本や子どもの本の専門店・オーガニック食品などを取り扱う「クレヨンハウス」を主宰されています。

ビデオ講演会の収録は「クレヨンハウス東京店」の子どもの本の専門店の一角で、お子さん連れのお客様のいる中で行いました。途中、収録スタッフのアクシデントにも落合さんはおおらかに「大丈夫、大丈夫。失敗したらごめんねって言えば大丈夫。」と仰いました。さりげない気配りに溢れた落合さんの姿から、こうでなくてはいけないという枠に捉われず、誰もがありのままに生きやすい社会を追求されている姿勢を感じました。



講演の中で落合さんは、子どもの本は子どもだけのものだけではなく、命や平和、多様性について網羅している大きなメディアなのだと言っています。

そして、自分の命がかけがえないものであるように、すべての命がかけがえないものと感じ行動することが平和の基礎といえる。戦争が無

いことが平和ではない、貧困や差別など構造的な暴力がある限り本当の平和ではないのだと仰いました。とても心に響く言葉ばかりでした。

「夢は有機の畑をもっと作ること。世界中に広がったら不揃いのミカンを持って泥付きのだいこんを持って、戦争反対という活動をやりたい」と仰った落合さん。有機野菜も人間も一つとして同じではない個性を持っています。自然のありのままを受け入れ、あらゆる生き方を尊重し、社会的弱者を生まない世界を一人ひとりが希求することで平和が実現するのだと気づかされました。



収録後、落合さんの著書である「母に歌う子守唄」にサインを頂いたとき、落合さんから「親の思いを大切に」と声をかけていただきました。

性別や社会的役割、心身の状態などに捉われず、多様な生き方を尊重することについて、今まで以上に深く考えることが出来ました。



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「寒・波」(一字以上読み込むこと)

背中丸めて寒さを堪え釣りを楽しむ霞浦の朝
ヒートテックを知らずに逝った祖父は木綿で寒い畑
一人ドライブ里山あたり軒で波打つ吊るし柿

世界相手に大波越えて掴む若武者 MVP
いくつ越えたか大波小波泣いて笑って八十路生く
旅行飲み会六波の前に企画立てれば変異株

寒い時にも弱音を吐かず八十路ゆったり歩ゆむ坂
冬の到来寒さが増して布団出るのが辛い朝
椅子を動かして日の射す窓辺寒さまつたり生あくび
カンパ強いられ懐寒し笑みのお返しぬくむ暮れ

寒さ冷え込み霜月見頃は紅葉筑波山
コロナ下火の兆候嬉し願う六波が来ぬように
湖面静かに朝靄晴れて金波銀波に輝けり

寒波到来綿入着こみ母のお下がりが浮かぶ顔
梢のばして夕陽を浴びて向かう寒さに葉を落とす
寒さしみるね師走の風は今年ふりむきやくやむ年
霞浦の水面に細波立つて浮遊鳥たちリラックス

寒い夜には肩寄せ合って語り尽せぬ神の縁
心尽くしの炬燵も冷えて寒さばかりが身に沁みる
寒い夜中に火の気もなくして試験勉強今いずこ

十二月の俳句(題 当季雑詠)

一本の蔓に命やからす瓜
歩道橋二つくぐれば菊日和
冬薔薇花散る素ぶり見せもせず
枯れ葉舞う光集めてはらはらと
紅葉の見事な五色車中から
柿柿と幼子の目にからすうり
囲炉裏囲み友と酒飲む今夜かな
変異株のコロナ上陸神の留守
重ねぎを重ね微々たる脱炭素
老ふたり素々と湯豆腐似合いをり
振り向けば夕映えの檸檬もみじ寺
手を合わせ初日を拝む嬬われ
からかうと枯葉はまるく転がされ



- 高橋一步
- 山崎笑子
- 関根秀子
- 上野八千代
- 長谷川悦子
- 石戸律華
- 田島草実
- 伊藤葉子
- 木村幸子
- 増尾青蓮
- 山岸錦洋
- 門脇悠美
- 小薮川久美
- 塚本夏雲
- 沼寄朋香
- 山崎泰弘
- 山岡亜子
- 井戸賀蘇道
- 篠原美千代
- 酒川夢花
- (五十音順)
- 青野安佐子
- 石毛恵美子
- 市川紀行
- 海道民子
- 木澤はしめ
- 小林美佐恵
- 高柳幸子
- 田島早苗
- 中島輝子
- 長田敏笑
- 増尾尚子
- 松本秀子
- 山口美代子